



【右ページ写真】黄色のアクセントウォールと朱色のチェアで、活力の湧く空間になっている執務室。照明の明るさを抑え、暖色系のランプを用いた空間には、ビビットすぎない彩度が適しています。【写真1】全体的に落ち着いたカラーリングで構成されたエントランス空間。木目のシートが高級感を演出し、電話台部分の赤い色彩が空間にエネルギーを与えています。【写真2】お客様と対面するカウンター状の執務室。グリーン色彩には人をリラックスさせ、お客様に心地良さを感じていただける空間となります。【写真3】鮮やかなターコイズブルーの壁が印象的な執務空間。ブルー系統の色彩は脳をすっきりとさせ、集中力を高めます。【写真4】曲線形状で発色の良いグリーンカーペットを敷き詰めたコリドー。曲線で先が見えないことで、期待感が高まり、エネルギーが増します。木目のサッシ枠と床のグリーンのアースカラーがリラックス効果を高めています。【写真5】ビビットなオレンジのチェアと明るい木目のテーブルで構成されたミーティングスペース。明るめの照度が必要な空間では白色の蛍光灯は使用せず、電球色を使用すると良いでしょう。白色の蛍光灯は集中力を低下させてしまいます。



# Feng-Shui Gallery

special edition vol.47

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『オフィス空間のアクセントカラー vol.2』



**アクセントカラーによって空間のイメージは激変する  
空間ごとに効果的な色彩を採用して  
人間の脳に多大な影響を及ぼす視覚情報をデザインすることが重要**

オフィス空間の色彩計画は、その空間ごとにさまざまな想定をして選択する必要があります。

執務室だけを考えても、活力を向上させる色彩、集中力を向上させる色彩など

座席の位置によって色彩に変化がもたらされます。

それらをバランス良く配置することで、整った空間となるでしょう。